

厚木基地をめぐる動向と市の取り組み

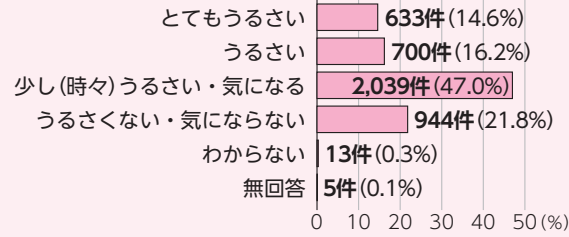
神奈川県内の自治体で2番目に人口密度が高い本市に厚木基地が所在することで、市民は航空機の騒音被害や事故への不安、街づくりの支障などさまざまな影響を受けています。今号では、航空機騒音の状況など厚木基地をめぐる動向と市の取り組みについてお伝えします。

問 市役所基地対策課基地対策係 ☎(260)5310 ㊟(261)4592

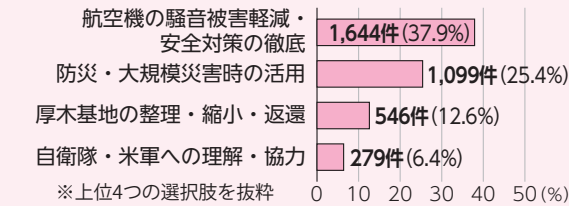
厚木基地に関するeモニターアンケートを実施

期間：令和6年1月10日～17日（8日間）
回答件数・回答率：4,334件・7%

あなたは厚木基地の航空機騒音をどのように感じますか。



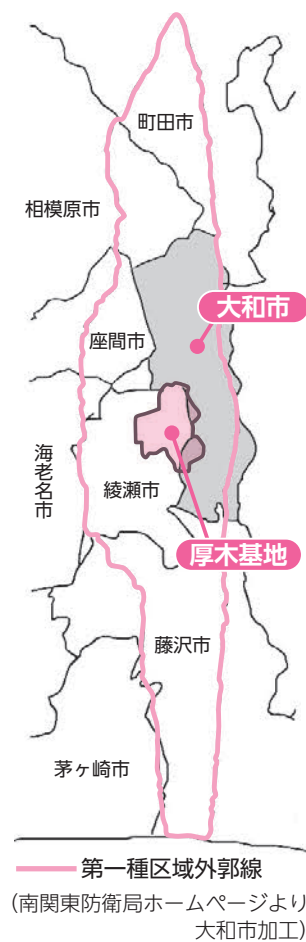
今後の厚木基地に関して、あなたは現実的に、何を優先して取組が進められるべきと考えますか。第1順位を教えてください。



詳細な結果については、市のホームページをごらんください。



第一種区域外郭線の概略図



めています。昨年11月には鹿児島県屋久島沖で米空軍オスプレイの墜落事故が発生し、同時期にオスプレイの厚木基地への飛来が見られたことから、市では航空機の安全対策の徹底を国に要請し、米軍は安全性が確保されるまでオスプレイの飛行を停止しました。市では機会あるごとに航空機の安全対策を求めています。

第1種区域等の見直し

国(防衛省)は、防衛施設周辺における騒音などの障害防止のため、法に基づき住宅防音工事助成事業などの周辺対策を行っています。この周辺対策を行うにあたり、国は、厚木基地周辺地域で、北は町田市、南は藤沢市までを範囲とした第1種区域(ほかに第2・

主な要請活動(令和5年度)

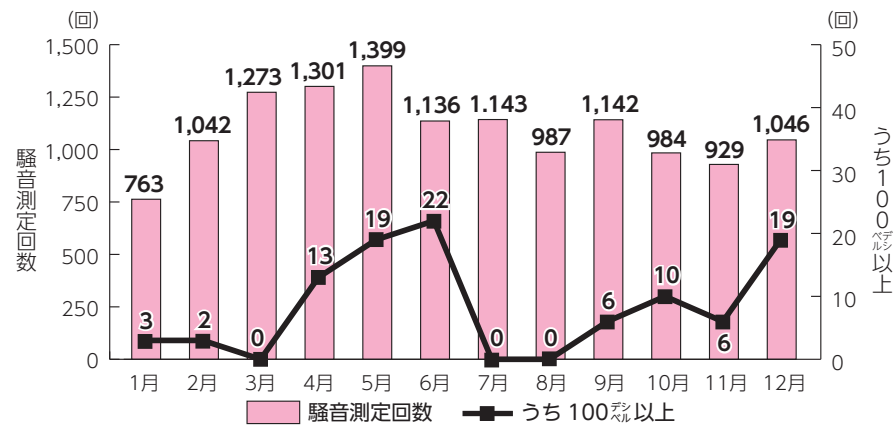
とき	要請者	要請先	内容
令和5年5月8日	大和市長	外務・防衛大臣、米海軍厚木航空施設司令官	空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について
5月25日	大和市長	防衛大臣	米海軍厚木航空施設からの燃料漏れについて
7月31日	大和市基地対策協議会	内閣総理大臣、総務・外務・防衛大臣、駐日米国大使など	厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望
8月7日	神奈川県基地関係県市連絡協議会	内閣総理大臣、財務・外務・防衛大臣など	基地問題に関する要望
10月25日 10月26日	厚木基地騒音対策協議会	内閣総理大臣、外務・防衛大臣、駐日米国大使、米海軍厚木航空施設司令官など	厚木基地における空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等に関する要請
11月30日	大和市長	外務・防衛大臣	オスプレイを含めた航空機の安全対策の徹底について
令和6年2月21日	厚木基地周辺6市長(大和市長、綾瀬市長、相模原市長、座間市長、海老名市長、町田市長)	防衛大臣	厚木飛行場周辺の住宅防音工事にかかる告示後住宅への早期助成着手等に関する要望

市の取り組み

市は、厚木基地に起因する諸課題の実情を踏まえ、大和市基地対策協議会

の活動や神奈川県、周辺自治体との連携等を通じて国や米軍などに要請活動を実施しています(左表参照)。厚木基地をめぐるさまざまな動きがある中、今後も航空機の騒音測定や各種要請活動等を行うなど、国の周辺対策の拡充を含め、基地に起因する諸課題の解決と市民負担の解消に向けた取り組みを進めていきます。なお、市の取り組みについては市のホームページに掲載しています。

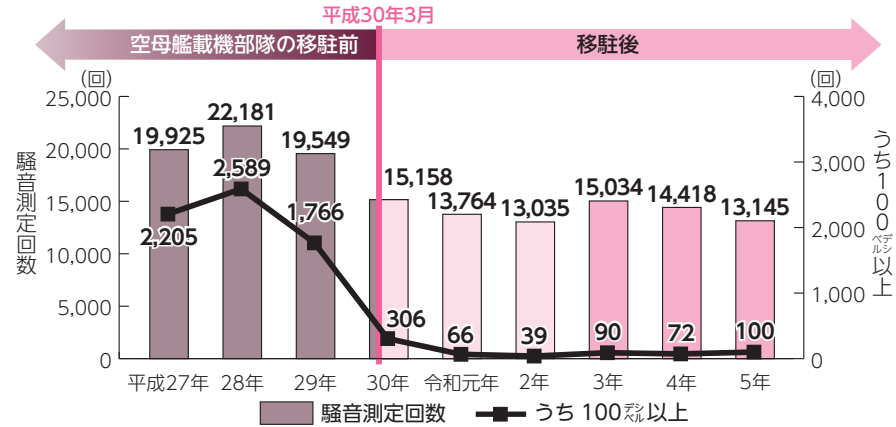
月別騒音測定回数(滑走路北約1km地点) 令和5年



航空機騒音の現状

市では、市民に及ぶ航空機騒音被害の実態把握のため、市内5か所に自動騒音計を設置し、常時、騒音測定を行っています。令和5年の月別騒音測定回数(滑走路北約1km地点における70%以上5秒以上の継続音など)は、763回から最多で1,399回となり、厚木基地の米軍ヘリコプターや自衛隊の哨戒機などの飛行に伴う航空機騒音

年間騒音測定回数(滑走路北約1km地点)



空母艦載機移駐前後の騒音状況

厚木基地では平成30年3月までに空母艦載機部隊の移駐が行われ、騒音測定回数が最大で22回となり、他基地から厚木基地に飛来する米軍ジェット戦闘機の甚大な騒音被害も生じています(左上グラフ参照)。

厚木基地の航空機事故発生状況(令和5年度)

発生日	種別	内容
令和5年7月13日	海上自衛隊	P-3Cの部品(リベット頭部約0.1g)紛失
10月24日	海上自衛隊	P-1の部品(ボルト約1g)紛失
12月7日	米海軍	MH-60Sの部品(パネル約7kg)落下
12月20日	海上自衛隊	P-1の部品(フィッティングアッシー約22g)紛失
令和6年1月26日	海上自衛隊	P-3Cの部品(リベット約1g)紛失

航空機事故の発生

厚木基地では航空機の部品紛失などが発生しており(左表参照)、被害報告はありませんが、市では、早期の原因究明や再発防止策の徹底などを強く求

母艦載機の岩国基地(山口県)への移駐が完了しました。移駐前後の年間騒音測定回数を比較すると、移駐前(平成27年～同29年)は1万9,549回から2万2,181回でしたが、移駐後(令和元年～同5年)は1万3,035回から1万5,034回となり、約3割減少しています。また、100%以上の測定回数は、移駐前は1,766回から2,589回でしたが、移駐後は39回から100回となり、約9割減少しています(左上グラフ参照)。